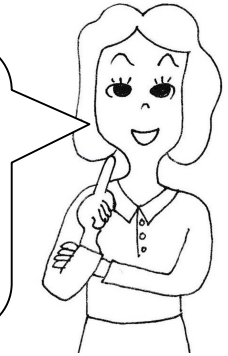


# ひとみ

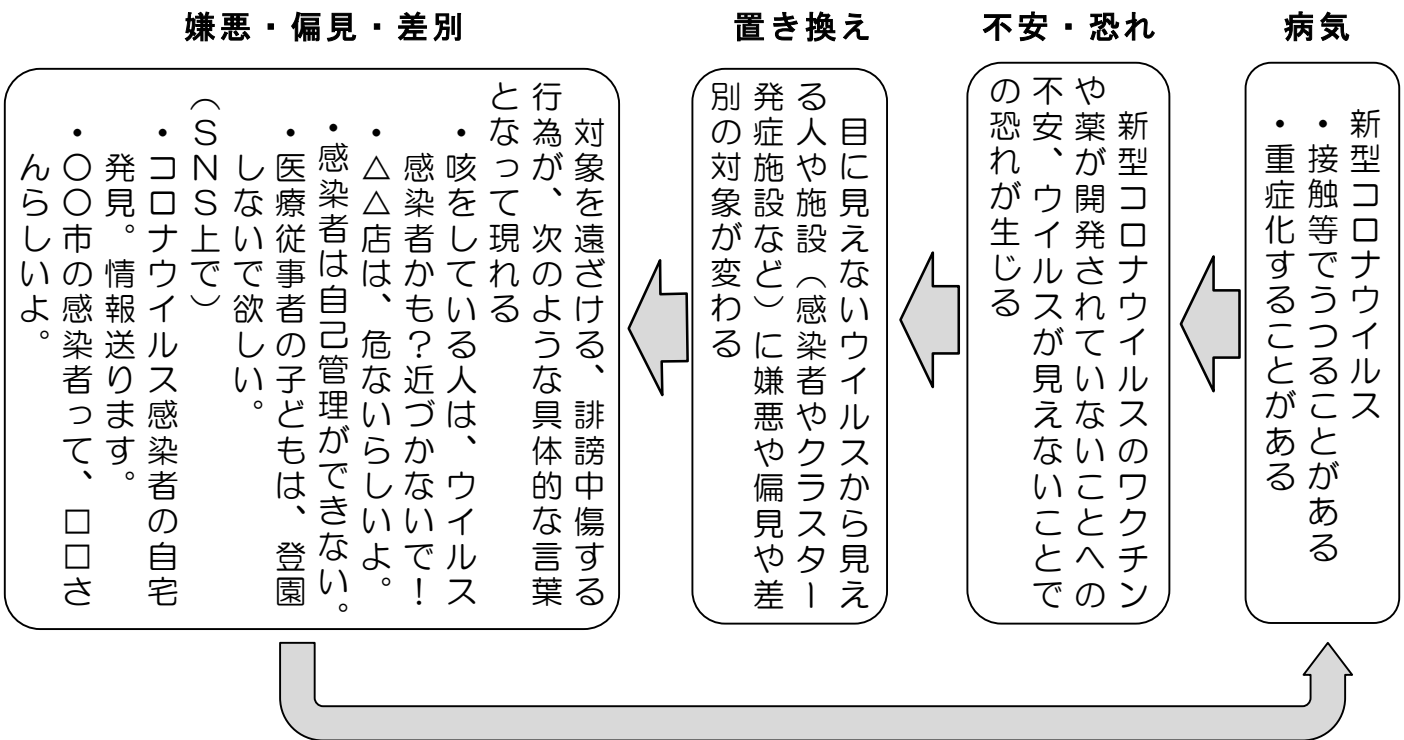
発行  
相生市教育委員会  
(人権教育推進室)  
電話 23-7145  
令和2年6月号  
(臨時号)

## 新型コロナウイルスと人権について

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっています。日本においてもまだまだ予断を許さない状況と言えます。そのような中、感染者、その家族や同僚、医療従事者などへの誤解や偏見による誹謗中傷、クラスターとなった施設などへの風評被害などが起こっています。いわれのない差別で誰かが苦しまないために、私たちに何ができるか、考えてみませんか。



## 新型コロナウイルスの広がりや嫌悪、偏見、差別のつながりについて



※ また、差別を受けるのが怖くて、熱やせきがあっても受診をためらい、結果として、病気の拡散を招くといったように、嫌悪・偏見・差別が病気につながる負の連鎖に陥る危険性があります。

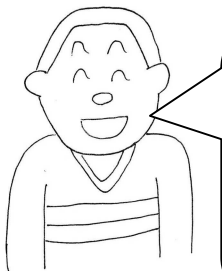
### ■負の連鎖を防ぐために

病気	<p>○一人一人が衛生に気をつけて行動することを徹底しましょう。</p> <p>「手洗い」「咳エチケット」「人混みを避ける」</p> <p>※ ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためだけではなく、まわりの人のためにすることも大切です。</p>
----	--

不安	<p>○考え方や感じ方がいつもと違ってないか、自分を見つめ直してみましょう。</p> <p>○ウイルスに関する悪い情報ばかりを意識するなど偏った情報収集に気をつけましょう。</p> <p>○「自分流のストレス発散に取り組む。」「心地よい環境を整える。」「いつもの生活習慣やペースを保つ。」など、心と体の健康に努めましょう。</p> <p>※ 不安や恐れは身を守るために必要な感情ですが、自分を見失わないことが大切です。</p>
----	---

嫌悪 偏見 差別	<p>○不安をあおることは病気や感染者に対する偏見や差別を強めます。「<u>不確かな情報を広めない。</u>」「<u>差別的な言動に同調しない。</u>」など情報発信に気を配りましょう。</p> <p>○私たちの誰もが感染の危険性があります。「誰もがそれぞれの場所で感染を拡大しないようにがんばっている。」ということを忘れずに、すべての人々に思いやりの心で接するようにしましょう。</p>
----------------	--

日本赤十字社ホームページ「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」参照



病気やウイルスに関してこれまでに、ハンセン病やエイズウイルス等の患者や家族に対するいわれのない差別や偏見がありました。これらを教訓に、新型コロナウイルスに関わる人がさまざまな場所や立場にいることを意識し、誤った認識や不確かな情報に惑わされて誰かを傷つけることがないように、自分も相手も大切にしたい言動を心掛けたいですね。

### 不当な差別やいじめ等の相談窓口

新型コロナウイルスに関連した人権侵害を受けた場合、下記の相談窓口で相談を受け付けています。これらの電話番号は、最寄りの法務局・地方法務局につながります。

#### ○法務省 みんなの人権110番

- ・専用ダイヤル 0570-003-110 (全国共通)
- ・受付時間 平日 8:30~17:15

新型コロナウイルス感染症による差別やパワー・ハラスメントなど、様々な人権問題についての相談窓口。

#### ○法務省 子どもの人権110番

- ・フリーダイヤル 0120-007-110 (全国共通、通話料無料)
- ・受付時間 平日 8:30~17:15

子どもの人権問題に関する専用相談窓口。新型コロナウイルス感染症に関連したいじめや虐待についても対応。

#### ○法務省 女性の人権ホットライン

- ・専用ダイヤル 0570-070-810 (全国共通)
- ・受付時間 平日 8:30~17:15

女性の人権問題に関する専用相談窓口。新型コロナウイルス感染症に関連したDVやセクシャル・ハラスメントについても対応。